



千代田区立

教育研究所だより

新年度紹介号

令和8年4月



「学校力の向上」

教育研究所長 上原 史士
(指導課長兼務)

教育研究所長も3年目を迎えました。各校園においては、子どもたち一人一人の成長を支えるため、日々の教育活動に誠実に取り組まれていることに、心より敬意を表します。

近年、学校・園を取り巻く教育環境は大きく変化しています。教育課題の多様化・複雑化に加え、不測の事態への備えなど、学校・園が果たすべき役割はますます広がっている状況です。こうした中、一人一人の教職員の努力だけに頼るのではなく、組織として学校・園が機能する力、すなわち「学校力」の重要性が、これまで以上に高まっています。

学校力とは、教職員一人一人が専門性を発揮し、共通の理解と目的意識のもとで連携しながら、組織として教育活動を展開していく力のことです。授業づくりや生活指導だけでなく、学校運営や人材育成、そして危機管理に至るまで、学校力はあらゆる場面で問われてきます。

とりわけ、危機管理において、学校力は最も厳しく試されます。事故を含めた、突発的な事案が発生した際、結果を大きく左右するのは、その後の対応ではなく「初期対応」です。初動の判断や行動が適切であったかどうかは、事態の拡大を防げるか、子どもたちの安全と安心を確保できるかを決定づける重要な要素となります。

初期対応は、決して個人の経験や瞬時の判断力だけで成り立つものではありません。誰が、何を、どのように行うのか、あらかじめ組織として共有されていること、日頃からあらゆる事案を想定して、対応の共通理解が図られているかどうかで、その質が大きく左右します。備えが十分でないまま非常時を迎えれば、初動の遅れや判断の混乱を招き、取り返しのつかない結果につながります。

また、こうした非常時においては、学校・園と保護者との迅速で正確な情報共有、そして相互の信頼に基づく協力が不可欠であると考えています。日頃から学校の取組や考え方を理解してもらうことが、いざという時の落ち着いた対応と、子どもたちの安心につながっていきます。

だからこそ、危機管理は「特別な場面の話」ではなく、日常の学校運営そのものとして位置付ける必要があります。平常時における情報共有、役割分担の明確化、管理職と教職員との信頼関係、組織としての意思決定の在り方など、日々の積み重ねが、いざという時の初期対応力を支えます。同時に、学校・園が家庭と日常的に丁寧なコミュニケーションを重ね、共に子どもを育てるパートナーとして関係づくりを進めていくことが、学校力の土台になると考えています。

教育研究所としましては、学校力の向上を支える観点から、組織的な危機管理体制の構築と初期対応力の強化、そのための人材育成を重要な柱として位置付け、研修や研究を進めてまいります。また、現場の実情に寄り添いながら、各校園の取組について支援を行っていきます。

子どもたちの学びの充実のために、学校・園が組織として機能し続けることは不可欠です。そして、教職員の連携に加え、保護者の理解と協力があってこそ、日常的教育活動が学校力を高め、確かな初期対応力となって表れていきます。

本年度も、学校・園、教育委員会、教育研究所、そして保護者の皆様が力を合わせ、子どもたちのために学校力の向上に取り組んでいきたいと考えています。



※生成AIで作成してみました

◇ 教育研究所の組織及び事業内容 ◇

1. 調査研究 【教育課題調査研究・所内研究】
千代田区の教育課題に関して調査研究を行うことにより課題解決を図るとともに、その成果を区内の各校を対象に発信しています。今年度は2月に研究発表会を行います。この事業は、指導課の主導により、各校からの委員が調査研究を推進しています。また、所員の資質や能力を高めるため、所内研究にも取り組んでいます。
2. 研修 【幼児教育・若手教員育成研修・中堅教諭等資質向上研修・経験者教員支援】
幼稚園・こども園及び小・中学校の若手教員を対象に、保育力や授業力の向上を目指した実践的な研修を行っています。また、教職経験を重ねた中堅教諭を対象にした、学校全体の課題解決に主体的に関わる姿勢を育成する研修にも携わっています。
3. いじめ・不登校等 【訪問(不登校等情報交換会/SSR訪問等)・VLP・不登校調査】
スクールソーシャルワーカー(SSW)と学校問題対策専門員が連携をとり対応します。一昨年度から各学校には校内教育支援センター(SSR)(クラスに入りづらい児童・生徒の校内の居場所)が設置されています。また、VLP(仮想空間で自分のアバターを操作し、コミュニケーション活動を行う)が実施されています。本年度、神田一橋中学校「チャレンジクラス」が、校内分教室として開室しました。
4. はくちょう教室 【計画・指導/相談・学校及び関係機関との連携】
はくちょう教室では、個別の学習や体験活動を通して社会的自立に必要なスキルを身に付けられるよう、通室生に寄り添い指導・支援しています。
5. 教育情報 【教科書センター・所報/刊行物発行・情報資料の整理】
現在使用している区立小・中学校、中等教育学校、特別支援学級の教科書の他、教育関係の情報誌を展示しています。所発行の刊行物として、12月に「所報第87号」を発行予定です。

◇ 教育研究所 所員及び主な担当 ◇

★今年度着任 ☆令和7年9月着任

職名	氏名	主な担当事業
研究所長(指導課長兼務)	上原史士	総括責任者
指導主事(教育研究所兼務)	戸栗大貴	教育研究所運営 道德教育 人権教育 研究協力校
教育研究専門員(主任)	本橋智博	所内研究 若手教員育成 経験者教員支援 情報資料
教育研究専門員	額賀 聡	所内研究 若手教員育成 経験者教員支援
	宮森 巖	若手教員育成 教科書センター VLP
	湯本正雄	教育課題調査研究 幼児教育 若手教員育成
	豊田純子	教育課題調査研究 若手教員育成 所報・刊行物
	★福井嘉子	幼児教育 若手教員育成 情報資料 VLP
学校問題対策専門員	中村裕子	いじめ・不登校等 特別支援教育の充実 学校訪問 調査
	桐川 勲	生活指導主任会 学校健全育成サポート会議 SSW
スクールソーシャルワーカー(SSW)	鴨崎琴枝	いじめ・不登校等 学校健全育成サポート会議
	☆岩尾 尚	生活指導主任会 ケース会議等への参加 調査
適応指導員	岩崎くみ	はくちょう教室における適応指導・相談 行事計画・運営
	★渡辺 暁	
	山田 碩	
	鈴木みなみ	

【教育研究所・はくちょう教室・教科書センターの所在地】

〒101-0041 千代田区神田須田町1-4-4 pmo 神田須田町3階

TEL 03-3256-8446

FAX 03-3256-8166



教育研究所のホームページ